①配布されたクライアント証明書をパソコンに保存します。

②配布されたクライアント証明書のインストール

①で保存したファイルをダブルクリックします

25イアント証明書20240331まで.pfx	
← 髪 証明書のインポート ウィザード	×
証明書のインポート ウィザードの開始	
このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピー します。	
証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護 されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステ ム上の領域です。	
保存場所	
●現在のユーザー(C)	
○ □-カル コンピューター(L)	
続行するには、[次へ] をクリックしてください。	
次へ(<u>N</u>) キャンセ	JV

次へをクリック

		×
←	ジェ 証明書のインポート ウィザード	
	インボートする証明書ファイル	
	インポートするファイルを指定してください。	
	ファイル名(E):	
	C:¥1emp¥754777下証明音20240331まで.ptx 参照(<u>R</u>)	
	注意: 次の形式を使うと 1 つのファイルに複数の証明書を保管できます:	
	Personal Information Exchange- PKCS #12 (.PFX,.P12)	
	Cryptographic Message Syntax Standard- PKCS #7 証明書 (.P7B)	
	Microsoft シリアル化された証明書ストア (.SST)	
	次へ(N) キャンセル	·

次へをクリック

密	╄−の保護 セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。
	秘密キーのパスワードを入力してください。
	パスワード(<u>P</u>):
	•••••
	□ パスワードの表示(D)
	インポート オプション([):
	□ 秘密キーの保護を強力にする(E) このオブションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。
	□ このキーをエクスポート可能にする(M) キーのバックアップやトランスポートを可能にします。
	□ 仮想化べースのセキュリティを使用して秘密キーを保護する(エクスポート不可)(P)
	✓ すべての拡張プロパティを含める(A)

Г

案内されたパスワードを入力し 次へをクリック

		\times
~	☞ 証明書のインポート ウィザード	
	証明書ストア	
	証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。	
	Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。	
	●証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)	
	○ 証明書をすべて次のストアに配置する(₽)	
	証明書ストア:	
	参照(<u>R</u>)	
	次へ(N) キャンセ	IL

次へをクリック



完了をクリック